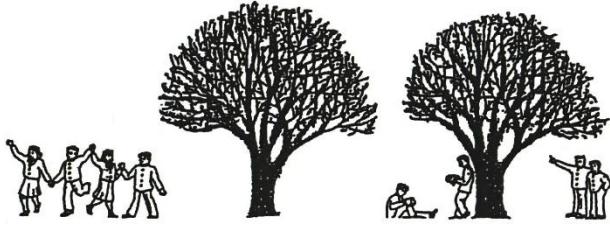


## 2本のケヤキ

第167号 (令和8年2月4日)



### りょうこわ SNS利用の怖さ

一不特定多数への拡散が誰かの人生を変えてしまう—  
今日は、栃木県内の高校で発生した生徒間の暴力  
事案と、その様子を撮影した動画がSNSで拡散された  
出来事について、皆さんと一緒に考えたいと思います。  
SNSは日々の生活を豊かにし、楽しむためのツールで  
す。しかし、一歩使い方を間違えれば、他者を深く傷つけ、  
未来をも一変させてしまう恐れがあります。あらためて  
「SNSとの向き合い方」について、心に留めてほしいこと  
を伝えます。

#### 【生徒の皆さんへ】

この問題を「遠くの学校で起きた無関係なこと」ではなく、「自分事」として捉えてください。スマートフォンの普及により、私たちの日常のすぐ隣には、常に大きな落とし穴が潜んでいます。被害者にも加害者にもならないために、以下のことを正しく理解してください。

#### ○「撮影・投稿・拡散」は加害行為である

目の前でトラブルが起きた際、スマホを向けて撮影し、それをSNSに投稿・拡散することは、加害行為です。「面白いから」「悪いことをしている人をこらしめたい」という心理があるのかもしれません、暴力の様子をネットに流すことは、被害者にとって生涯消えない「二次加害」となります。たとえ匿名であっても、個人が特定されれば、当事者双方をさらなる窮地に追い込むことになります。一度拡散された情報は完全に消すことはできません。「撮る人」「広める人」も同じ加害者になってしまいます。

#### ○本当の正義感とは何かを考える

拡散された動画を見て、当事者を特定し、誹謗中傷を浴びせる行為が世の中で見られます。自分では「悪を正したい」という正義感のつもりでも、当事者は多くの人から非難され大変な精神的苦痛を受けます。ネット上の情報は、すべてが真実とは限りません。一部の情報だけを安易に批判することは、決して正義ではありません。

#### ○トラブルが起きた時、どうすればよいか

- ・まず、その場で止める(直接が難しい場合は、すぐに教員や近くの大人に助けを求める)。
- ・面白半分に撮影したり、投稿したりしない。
- ・流ってきた動画を、安易に保存・拡散しない。
- ・不適切な投稿を見つけたら、信頼できる大人(教員や保護者)にすぐに相談する。

#### 【保護者の皆様へ】

この機会に、ご家庭でもぜひ「我が家ルール」や「SNSのリスク」について話題にしてみてください。お子様がトラブルの当事者(被害者・加害者)にならないよう、フィルターをかける、利用時間を確認するなど、見守りをお願いいたします。

### はたちいわかい 二十歳を祝う会

1月25日(日)、本校体育館において「二十歳を祝う会」が開催され、令和5年度卒業生19名が元気に参加してくれました。式典では、卒業生一人一人から頼もしい近況報告があり、当時担当していた教職員からは温かいお祝いの言葉が贈られました。在学時の懐かしい映像を振り返ったり、ビンゴゲームを楽しんだりと、会場は終始笑顔に包まれ、再会を喜び合う素晴らしいひと時となりました。卒業生の皆さん、今後のさらなる活躍を心から応援しています。

